

## 第 13 回研究施設等廃棄物連絡協議会 議事録（案）

1. 日時 平成 28 年 4 月 8 日（金）13：30～15：00

2. 場所 日本原子力研究開発機構 東京事務所 インフォメーションルーム

### 3. 出席者（敬称略）

（委員）柴田<sup>\*1</sup>、寺井<sup>\*1</sup>、菊池<sup>\*2</sup>、澁谷<sup>\*2</sup>、○大谷<sup>\*3</sup>、長谷川<sup>\*3</sup>

（事務局）坂本<sup>\*3</sup>、星野<sup>\*3</sup>

（\*1 RI 協会、\*2 RANDEC、\*3 JAEA、○議長）

### 4. 議題

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| （1）議長挨拶                     |              |
| （2）第 11 回議事録及び第 12 回ご意見の確認  | 資料 13-1-1, 2 |
| （3）原子力機構における埋設事業の実施状況       | 資料 13-2, 3   |
| （4）日本アイソトープ協会における廃棄体の作製について |              |
| （5）大学・民間等の研究施設等廃棄物の処理事業準備状況 | 資料 13-4      |
| （6）廃棄体検討WGの実施状況             | 資料 13-5      |
| （7）その他                      |              |

### 5. 配布資料

- 資料 13-1-1 第 11 回議事録（案）  
 資料 13-1-2 第 12 回でのご意見（案）  
 資料 13-2 埋設処分業務の実施に関する計画  
 資料 13-3 原子力機構における埋設事業の実施状況  
 資料 13-4 大学・民間等の研究施設等廃棄物の処理事業準備状況  
 資料 13-5 廃棄体検討WGでの検討状況  
 （参考） 研究施設等廃棄物連絡協議会委員

### 6. 議事概要

#### （1）議長挨拶

大谷議長より新任委員の紹介と近況報告を含め挨拶があった。また、RI 協会・柴田委員、RANDEC・菊池委員より各法人の近況を含め挨拶があった。

#### （2）前回議事録（案）

資料 13-1-1, 2 に基づき、事務局より前回議事録（案）について説明し、委員

の了承を得た。

### (3) 機構の実施状況

資料 13-2, 3 に基づき、事務局より機構の実施状況として、平成 27 年度に実施した埋設処分業務の内容、実施計画の変更点と立地手順・基準について説明を行った。

原子炉廃棄物以外の処分について、その安全性を実証する試験等を行うことで、一般の理解を得やすくなるのではないかとの意見があった。

また、平成 28 年度より立地活動段階に移ったことから、今後の工程について 3 者間でより情報交換を行い、協力し進めることが必要との意見があった。

### (4) 日本アイソトープ協会における廃棄体の作製について

RI 協会より廃棄物の仮焼残渣の熔融試験、放射化物の扱いについて紹介があった。

### (5) 大学・民間等の研究施設等廃棄物の処理事業準備状況

資料 13-4 に基づき、RANDEC より大学・民間等の研究施設等廃棄物の処理事業準備状況について紹介があった。

### (6) 廃棄体検討WGの実施状況

資料 13-5 に基づき、事務局より平成 27 年度に実施した廃棄体検討WGでの検討状況について報告を行った。

### (7) その他

JAEA より、JAEA と韓国での放射性廃棄物処分の実施主体である KORAD 社とで協定を締結する予定であることが紹介された。

今後、原子力規制庁で研究施設等廃棄物の安全規制に係る審議がなされる際には、JAEA 以外の廃棄物も対象となることから、各社で協力して対応を行うこととした。

次回の開催時期については、事務局より後日連絡することとした。

以上